

せん妄の様子 記録シート（家族用）

1/2 様子の記録

面会の際に見た様子を、**短いメモで大丈夫**なので書きとめておきましょう。「いつ」「どんな様子」「何をしたら落ち着いたか」がわかると、看護師や医師が原因を探したり、対応を考えたりする手がかりになります。このシートは、そのまま見せてかまいません。

お名前（ご本人）：

記入する人：

日にち・時間	どんな様子？ （言葉・行動）	その前に あったこと	落ち着いたこと	伝えた？
記入例 10月3日 夜8時ごろ	「家に帰る」と言って、ベッドから起き上がろうとした。わたしの顔を見て「どちらさま？」と言った	夕食のあと。昼間はよく眠っていた。便が3日出ていない	名前を名乗って手を握り、好きだった昭和の歌を流したら、横になった	☒ 看護師 ☐ 医師 ☐ まだ
				☐ 看護師 ☐ 医師 ☐ まだ
				☐ 看護師 ☐ 医師 ☐ まだ
				☐ 看護師 ☐ 医師 ☐ まだ
				☐ 看護師 ☐ 医師 ☐ まだ
				☐ 看護師 ☐ 医師 ☐ まだ
				☐ 看護師 ☐ 医師 ☐ まだ

※ 急に呼吸が苦しそう、高い熱がある、強く痛がる、転んだ・頭を打ったなど、いつもと違う心配な様子があるときは、記録より先にナースコールや主治医への連絡をしてください。

せん妄のときは、その人の生活習慣や好きなものが、安心につながる手がかりになります。病院では、好きだった歌や塗り絵、折り紙などを取り入れることもあります。書いたら、担当の看護師に見せてください。

① その人らしさメモ

呼ばれて安心する名前・呼び方

例：「お父さん」「〇〇さん」「じいじ」

好きな歌・音楽・テレビ番組

例：昭和の歌謡曲、相撲中継

好きな飲みもの・食べもの

例：晩酌のビール（病院では医師の許可が必要）

趣味・手を動かすこと

例：塗り絵、折り紙、新聞を読む

毎日の習慣

例：起きる時間、寝る前にすること

ほっとする話題・言葉

例：孫の話、昔の仕事の話

持っていくなじみのもの

☐ 眼鏡 ☐ 補聴器 ☐ 入れ歯 ☐ 時計 ☐ 写真 ☐ いつものタオル

② 今日、つらかったこと

言われてショックだった言葉や、こわかった場面を書き出しましょう。

③ 今日、できたこと

「そばにいた」「名前を呼んだ」「手を握った」も、立派なケアです。

④ 自分にかけたい一言

家族も休んでいいのです。今日の自分に、やさしい言葉をかけてあげてください。

⑤ ひとりで抱えないためのチェック

- ☐ 担当の看護師に、気になることを伝えた ☐ 面会を家族で交代できるか話し合った
☐ 病棟の相談窓口（がん相談支援センター・医療ソーシャルワーカーなど）を知っている ☐ 今夜はしっかり眠る